



地域を支える松本糸魚川連絡道路の整備

～長野県大町建設事務所と大町市役所より継続的に情報を発信します～

地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」 大町市街地区間の最適ルート帯を発表しました

「松本糸魚川連絡道路」大町市街地区間の計画は、令和3年9月から100m幅の「幅の細いルート帯」について2年以上にわたり検討を進めてきました。

1月13日(土)に開催した説明会において、最適ルート帯として「Cルート帯」を発表しました。

今後は、ルート帯に関係する地域や地権者の皆さんへ説明や意見交換をしながら、現地の測量や各種調査を進め、詳細なルートや道路の構造を検討してまいります。

引き続き、県と市で連携して進めてまいりますので、ご理解、ご協力をお願いします。

大町市街地区間の最適ルート帯「Cルート帯」



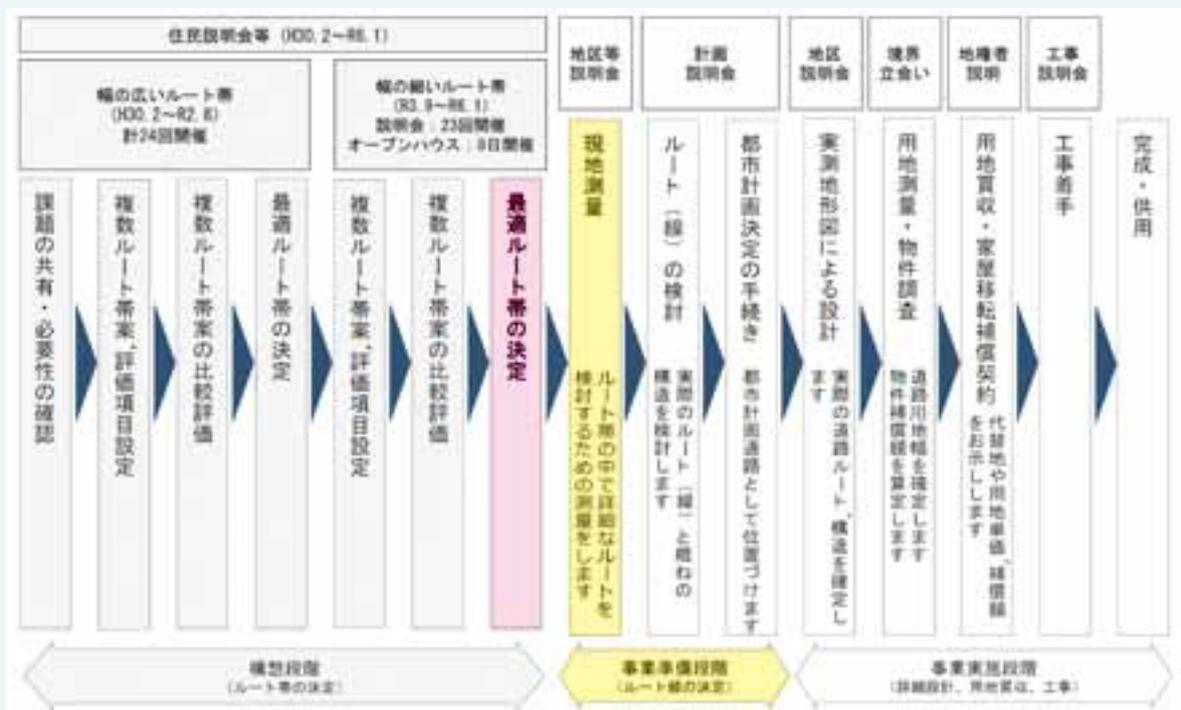
最適ルート帯の選定にあたっては、「ルート帯の比較評価結果」、「皆様からのご意見」、「大町市の考え方」などを踏まえ総合的に判断しました。

最適ルート帯の判断に至った主な理由

- ①市街地内を通過する車両が分離され、交通緩和、交通事故減少が期待できるとともに、安全で歩きやすいまちづくりが期待できる。
- ②救急医療機関への速達性、防災拠点とのアクセス性が高く、災害時のネットワーク機能が強化される。
- ③優良農地を通過する延長、面積および不整形となる区画数が少ないため、農地や田園景観に対する影響が比較的小さい。
- ④道路網が中心市街地と一体となったコンパクトな市街地の骨格を形成し、中心市街地へのアクセス性も高いため、大町市が目指す集約型都市構造に寄与する。
- ⑤市街地に近いため、中心市街地活性化などのまちづくり施策と連携し、中心市街地への誘客を検討し推進していくことで市の発展につなげることが期待できる。
- ⑥市街地に近いため、住宅地への影響は比較的大きいが、公共施設跡地や空き家の有効活用など、市街地再生の検討とともに対応できる。

今後のスケジュール

これまでは「構想段階」として最適ルート帯の検討を行ってきました。今後は、事業化に向けた「事業準備段階」として、現地の測量や各種調査を行い、詳細なルートや概ねの道路構造の検討を進めてまいります。



関係する地区や地権者の皆さんには今後も段階ごとに説明会などを開催してまいりますので、ご理解、ご協力をお願いします。

■問い合わせ

▷ 大町建設事務所整備・建築課計画調査係 TEL23-6534(直通)

Eメールomachiken-matsuito@pref.nagano.lg.jp

▷ 市建設課計画係 TEL市内線697 Eメールkensetsu@city.omachi.nagano.jp